

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 近江プレミアムウッドの家

グループの名称 近江プレミアムウッドの家づくりの会

直近採択グループ番号 06-0764-0507

(グループ代表者)

代表者名	松田 充弘	代表者印
代表者所属先	丸松木材株式会社	
代表者所在地	滋賀県彦根市古沢町646	
代表者電話番号	0749-22-5535	

(グループ事務局)

事務局事業者名	丸松木材株式会社	
事務局担当者名	松田 充弘	印
事務局郵便番号	522-0007	
事務局所在地	滋賀県彦根市古沢町646	
事務局電話番号	0749-22-5535	
事務局FAX	0749-26-3079	
事務局担当者E-mail	m.matsuda@marumatsu-mokuzai.co.jp	

1. 地域型住宅の名称(必須)	近江プレミアムウッドの家
2. グループの名称(必須)	近江プレミアムウッドの家づくりの会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0764-0507
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、岐阜県、三重県
5. 結成年(必須)	2014 年
6. グループ代表者名(必須)	松田 充弘
7. グループ代表者の所属先(必須)	丸松木材株式会社
8. グループ代表者所在地(必須)	滋賀県彦根市古沢町646
9. グループ代表者電話番号(必須)	0749-22-5535
10. グループ事務局事業者名(必須)	丸松木材株式会社
11. グループ事務局担当者名(必須)	松田 充弘
12. グループ事務局郵便番号(必須)	522-0007
13. グループ事務局所在地(必須)	滋賀県彦根市古沢町646
14. グループ事務局電話番号(必須)	0749-22-5535
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0749-26-3079
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	m.matsuda@marumatsu-mokuzai.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	3	原木供給者が海外にあるため、記載事項確認書の入手が不可能な事業者については構成員に含めていません。
II. 製材・集成材製造・合板製造	5	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	1	
IV. プレカット	1	
V. 設計	1	
VI. 施工	26	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPPC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明		国産材	3	国内	
		外材	3	国外	
		国産材	2	国内	
		外材	2	国外	
		国産材	2	国内	
		国産材	2	国内	
		外材	2	国外	
		国産材	2	国内	
		国産材	4	国内	
		外材	4	国外	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		4	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		6	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		3	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		1	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		3	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		2	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		3	棟			
					300	m <sup>2</sup>			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m <sup>2</sup>			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	契約済み物件など、交付申請が確実な物件を有する事業者から配分する。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	9	戸	交付申請戸数	9	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	9	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 近江プレミアムウッドの家	(地域型住宅供給対象地域) 滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、岐阜県、三重県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 近江プレミアムウッドの家づくりの会	(結成年) 2014 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0764-0507	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	外皮性能は省エネ基準同等以上の断熱性能・日射熱取得性能を確保するものとする。 また、長寿命型の住宅においては耐震等級2以上の性能とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	夏の日射遮蔽対策として軒や庇を設け、また冬季における日射熱も取り込みやすいバランスの取れた住宅とし、合わせて通風など換気経路も考慮した建て方も工夫する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	地域型住宅の供給対象としている地域は、昔からの古民家や伝統建築も数多く残る地域でも有り、地域の町並みや風景にも溶け込むようなデザインを基本に設計を行う。	◎
④①～③の背景	対象地域はいずれも内陸性の気候区分に位置し、省エネルギー基準における地域区分は主に5地域および6地域である。夏季には猛暑日に見舞われることもしばしば有り、一方で冬季における気温は0度を下回ることもあるなど、寒暖の差が著しい地域である。 また、活断層の通っている場所も多数あり、大規模な地震に対する備えも必要な地域でもある。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 合理化された設計ルールに基づき、梁成の統一化など経済的な構造設計を行い、部材の品質や価格の安定化を図る。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 合理化された設計ルールに基づき、梁成の統一化など経済的な構造設計を行い、部材の品質や価格の安定化を図る。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 合理化された設計ルールに基づき、梁成の統一化など経済的な構造設計を行い、部材の品質や価格の安定化を図る。	◎
②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 合理化された設計ルールに基づき、梁成の統一化など経済的な構造設計を行い、部材の品質や価格の安定化を図る。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ内に設備検討委員会を設置し、使用する建材の選定を行い、同一製品の共同購入による設備工事コストの削減を図る	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ内に設備検討委員会を設置し、使用する建材の選定を行い、同一製品の共同購入による設備工事コストの削減を図る	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 効率的な住宅生産体制の整備に当たっては、事務局が中心となり生産の合理化に向けた意見の集約や、構成員メンバー間の調整作業などを行う。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工基準を明確化することにより、グループの信頼性の向上に繋げる。施工基準の指針として住宅省エネルギー技術講習会において用いられているテキスト内容に準拠する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 指定確認検査機関等の第三者機関による検査を用いることによりグループの信頼性向上を図る。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 見積書の作成にあたっては、消費者への住宅コストの見える化と適正な価格の提示に努め、数量、単価、工事内容などのわかりやすい見積書を作成する	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	■ ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ構成メンバー企業それぞれが週休2日制を積極的に導入できるよう、業務改革や意識改革などを通じ働き方の改革を行う。	◎
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 賃金体系や評価制度など、個人が技能を磨き経験を積むとともにそれを適正に評価できる環境づくりに積極的に取り組む。	◎
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 技能労働者の処遇の向上、建設産業の持続的な発展に必要な人材の確保のため、社会保険への加入を徹底する。	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 安全衛生パトロール、安全衛生教育などを通じ、現場での安全や健康確保に努める。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 近江プレミアムウッドの家	(地域型住宅供給対象地域) 滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、岐阜県、三重県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 近江プレミアムウッドの家づくりの会	(結成年) 2014 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0764-0507	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備		
【平成30年度対応方針】		
a	① 住宅履歴情報の蓄積	○ 記入欄
	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴システムの活用により住宅履歴情報の蓄積を行う。	○
	①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報サービスとして、プロパティオン(ナイス)、住宅履歴の図書館(ジャパン建材)の活用	○
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報サービス機関の活用により履歴情報蓄積の確認を行う。	○
	② メンテナンス基準	◎
	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メンテナンス実施時期を明らかに(1年・3年・5年・10年・20年・30年)し、維持保全計画書の作成により管理を行う。	◎
	②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検により補修の必要が生じた箇所については、適切な補修を行い合わせて補修履歴の記載	◎
	②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持保全計画書の適切なチェックにより点検補修実施につき確認を行う。	◎
	③ 住まいの管理	◎
	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まい手の長期維持管理に関するアドバイスやDIY体験会の実施により住まい手自らによるメン	◎
	③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まい手の長期維持管理に関するアドバイスやDIY体験会の実施により住まい手自らによるメン	◎
	③-3 その他の相談会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内に維持管理委員会を設置し、住まいの維持管理が適正に行える環境の整備を行う。	◎
	⑤ その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 万が一グループ構成員の倒産廃業が生じた時には、他の構成員メンバーが事業を引き継ぐ	◎
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工メンバーを中心とした勉強会を行い、過去に起こった瑕疵内容について共有化を図ること	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
エ. グループの技術力の向上		
【平成30年度対応方針】		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループの技術力向上のため、未経験工務店を対象とした施工技術研修会を開催する。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ技術講習会配布の施工マニュアルに準拠した施工を行い施工品質の担保を図る。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工店の社内検査はもちろんのこと、グループ内でも建築現場での勉強会の開催等で施工品質	◎
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長寿命型や高度省エネ型住宅に対するニーズは今後もますます高まっていくもの考えられる。グループ内で需給計画についても検討し、グループの技術力向上と合わせて供給体制の整備を図る。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 安心安全で快適な住まいの実現のため、住宅の耐震化や省エネ化など、より高性能な住宅の供	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工グループでは施工性や施工品質などを高め、設計グループではより良い性能を生み出せる	◎
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 20 今年度の参加目標人数 10	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 15 今年度の参加目標人数 10	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり、省エネルギーに関する技術講習会への参加案内を行う。	◎
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネルギー性能を向上させるための設備等についてメーカー参加による新技術導入検討会	○
	② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 近江プレミアムウッドの家	(地域型住宅供給対象地域) 滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、岐阜県、三重県																								
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 近江プレミアムウッドの家づくりの会	(結成年) 2014 年																								
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0764-0507																									
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。																										
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与																										
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄																								
a	地域材利用に関する																									
①	共通 ルール(必須)	構造材の過半にグループ指定の地域材を使用する。																								
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上																								
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等:</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等:</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等:</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																							
	柱:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																							
	梁・桁等の横架材等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																							
羽柄材	間柱、根太、垂木等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している																							
造作材	枠材、廻縁等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している																							
板材	壁板、床板等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している																							
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に 関する補足説明																									
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域材の供給事業者(原木供給・製材・流通)による地域材の出荷状況等の情報の提供を定期的に行い、事務局によるメール配信などにより、グループ構成員の地域材情報の共有を図る。																								
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域材の供給事業者(原木供給・製材・流通)による地域材の出荷状況等の情報の提供を定期的に行い、事務局によるメール配信などにより、グループ構成員の地域材情報の共有を図る。																								
	② グループ全体における地 域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ全体で年間約330立米の地域材を使用する予定である。																								
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 450 枚																								
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 200 坪																								
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 30 枚																								
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 30 枚																								
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 焼杉の外壁材																								
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 焼杉の外壁材																								
d	① 地域の伝統的なデザ インを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 外壁や軒裏等に木部が現しになるデザインを積極的に採用する。																								
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 続き間や土間の空間の採用により、開放的で地域との繋がりも生み出す間取りになるように努める。																								
	③ 地域の街並み形成へ寄 与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 外壁の色や建物の形状など過度に奇抜なデザインにならないよう配慮する。																								
	④ 和の住まいの要素を取 入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 畳や襖、障子なども和の住まいの要素も積極的に採用する。																								
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。																									
カ. その他																										
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄																								
東日本大震災の復興に資する取組																										
平成28年熊本地震の復興に資する取組																										

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 近江プレミアムウッドの家	(地域型住宅供給対象地域) 滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、岐阜県、三重県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 近江プレミアムウッドの家づくりの会	(結成年) 2014 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0764-0507	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>・認定低炭素住宅                      外皮性能については、省エネ基準と同等以上の断熱性能・日射熱取得性能を確保し、一次エネルギー消費量を基準一次エネルギーの消費量より10%低減させたものとする。                      また、節水対策、エネルギーマネジメント、ヒートアイランド対策、建築物(躯体)の低炭素化についても、所定の対策を行うことで、二酸化炭素排出量の低減を図る。</p> <p>・性能向上計画認定住宅                      外皮性能については、平成25年度基準相当、一次エネルギー消費量については、基準値に0.9を乗じた数値を下回る性能を確保するものとする。</p> <p>・ゼロ・エネルギー住宅                      住宅の躯体・設備の省エネルギー性能の向上、太陽光発電設備などの再生可能エネルギーの活用等によって、年間の一次エネルギーの消費量が正味で概ねゼロになるような住宅とする。</p> <p>・優良建築物型                      ①都市の低炭素化の促進に関する法律(平成24年9月5日法律第84号)に基づき、所管行政庁による認定、②評価機関による建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)の評価でBEIの値1.0以下、③認証機関等の第三者による建築環境総合性能評価システム(CASBEE)の認証で建築物の環境効率(BEEランク)1.0(B+)以上、これらいずれかの認定または評価を受けた木造建築物とする。</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。